

「平成 19 年度版通信利用動向調査」

拝復。



しとしとと降る雨は梅雨を感じさせますが、まだちょっと早い。多くの学校で運動会が予定されていたようですが、昨日は良い天気でしたので大丈夫でした？。お弁当の準備や席取りの順番待ちをされた方もいらっしやったかも。お疲れ様ですm(_ _)m。最近は何なんですか、運動会。

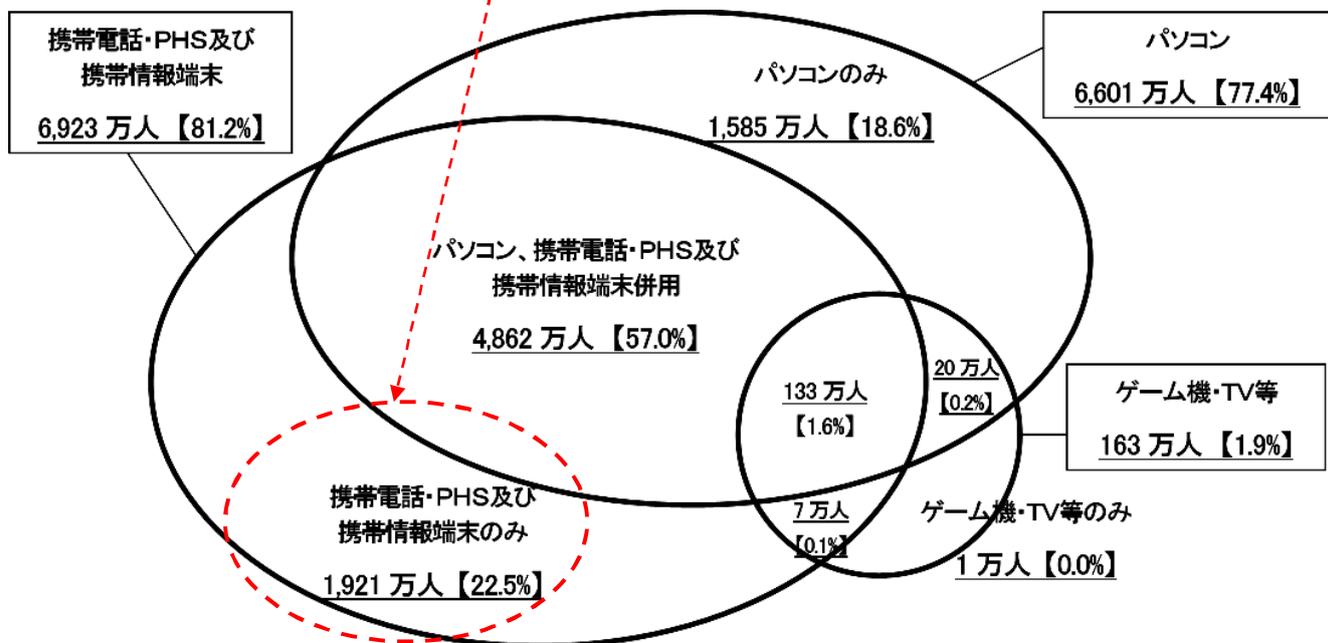
さて、今回は「通信利用動向調査」。ご記憶かと思いますが、かつて二度この NewsLetter で取り上げました。どう考えても調査結果が変である、とレポートをしましたが、やっぱり今回も変です。

ちなみに 001 号 <http://r-research.co.jp/pdf/nl01.pdf>

ついでに 004 号 <http://r-research.co.jp/pdf/nl01.pdf>

はこの URL で見ていただくことができます。

001 号で総務省の「平成 17 年通信利用動向調査」の調査を元に、ネットに「ケータイ」だけでつながっている人達が急増している。それゆえ、調査環境が非常に厳しくなっているというものでした。下図参照（ネットにモバイルだけでしかつながっていない人がほぼ 2000 万人に達しようとしています。）



ところが、この NL の読者の方から「18 年の結果が発表になっているけどどうということ？」というお問

い合わせを受けました。早速取り寄せたところ「????@??????」 まずはこの数字をご覧ください。そう、「ケータイ」のみでネットにつながっている人達が激減しているのです！

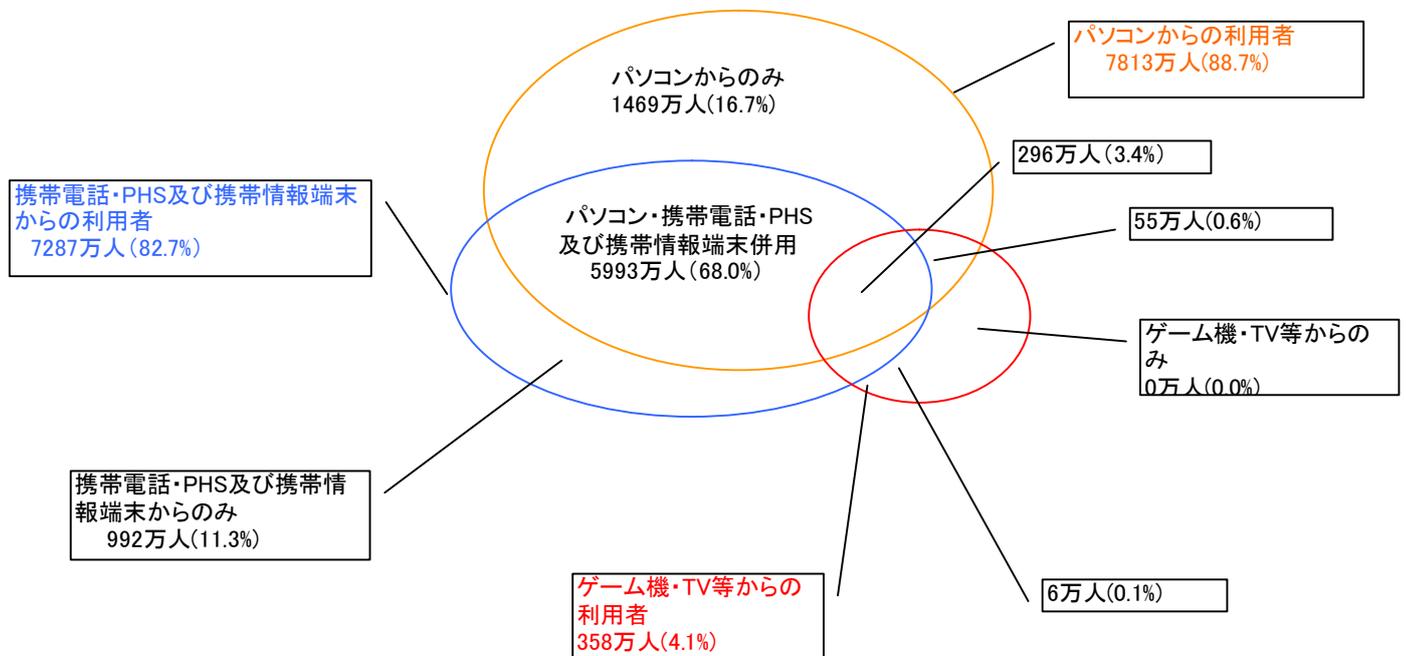
つまり、

平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
1511 万人 (19.0%)	→ 1921 万人 (22.5%)	→ 688 万人 (7.9%)

そんなバカなあ！  いくらなんでもこんなに大きな構造変化がこの一年で起きるはずがない！と思いきい合わせの電話等もしましたが、納得のいく回答は得られないまま。

で、平成 19 年度はどうなったのか？結論から申し上げますと再び、「携帯電話・PHSおよび携帯情報端末からのみ」のインターネット利用者が再び**増えました**。もう説明不能です(T_T)。

インターネット利用端末の酒類(個人)(平成19年末)



ケータイからのみネットをみている人は、

平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
1511 万人 (19.0%)	→ 1921 万人 (22.5%)	→ 688 万人 (7.9%)	→ 992 万人 (11.3%)

実感値としては、若年層を中心として「携帯電話を通じてのみのネット接触」が増えているように感じますが、それにしても去年のデータは何だったのでしょうか？

ちなみに**去年の数字の解説**として

加入者系光ファイバ網の普及に伴い、コンテンツもテキストや静止画から音声や動画へと大容量化が進み、移動端末のみでの利用だけではこのような容量の大きなコンテンツを利用したサービスを満足に享受することができない利用者が増加し、**パソコンを併用することによって、利用するサービスごとにパソコンと移動端末とを使い分ける傾向の高まったことが背景にある**

全く逆の仮説です。一年で起きる変化としては大きすぎる

と、言っていたのですが、昨年はなぜまた携帯のみのネット接触者が再び増えたのでしょうか？合理的な説明をお願いします。数千万円(推定)にのぼる税金を使ってこのざまは納得できません(怒)。

今年の解説は以下の通りです。

また、個人のインターネット利用端末については、携帯電話・PHS等の移動端末からの利用者数が前年末から201万人増加(2.8%増)して推計7,287万人となった。**ワンセグ放送対応、フルブラウザ対応といった移動端末の高機能化により、パソコンでなくとも音声や動画といった大容量コンテンツの利用が容易に行えるようになった**ことなどが原因の一つであると考えられる。



やれやれ、全く一貫性がありません。

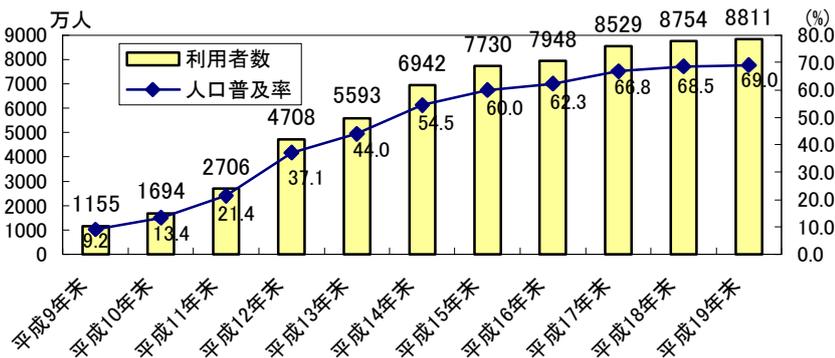
お手上げです。携帯電話の回線速度はまだ遅い。

確かに、インターネット利用者における「光ファイバ網」の普及は、27%→31%と一団と多くなってい

ます。「YouTube」や「にこにこ動画」は携帯からも見えますが、回線速度は遅い。かなりイラつきます。このレポートを書いた人は多分、普段はケータイ動画をみていませんね。

あまり文句ばかりを言っても始まらないので、調査の内容について触れたいと思います。一言で言うと「インターネット利用人口は頭を打った」と言えます。総利用人口は8811万人(前年比0.6%増)。世代別に見ても10代~40代での利用率はほぼ95%を超えていて、上限に達しています。高齢者の利用率も頭打ち。日本社会におけるネット利用者数は完全に頭打ち、ネットの普及率の伸びを背景にしたサービスや機器の販売はその成長の根拠を失おうとしています。

インターネット利用者数及び人口普及率の推移(個人)



インターネットにおける商品・サービスの購入状況については36%→41%と大きな伸びを示しています。特に30代、40代の伸びが大きい。インターネットで商品を購入する理由を見ると、昨年とほぼ同じ傾向です。様々な世代で幅広く使われ始めているということがよくわかります。

事実09年度の携帯電話の販売予測は前年を大きく下回って、-10%の予測がなされています(料金プラン変更の影響もあります)

今回の調査でもっとも変化があったのは「**非接触型電子マネーの利用状況**」、要するにスイカ



、PASMO、ナノコなどですね。これは実感値と合っています利用者はこの一年で倍増しています**(11%→22%)**。ICカードタイプが(8%→17%)、携帯電話を使うもので(4%→7%)。ICカードタイプに関してはその半分以上が乗車券と一体型のものとなっています。特に首都圏でその傾向が顕著で電子マネーをもっている人は40%と非常に高いものになっています。確かに便利ですスイカ。

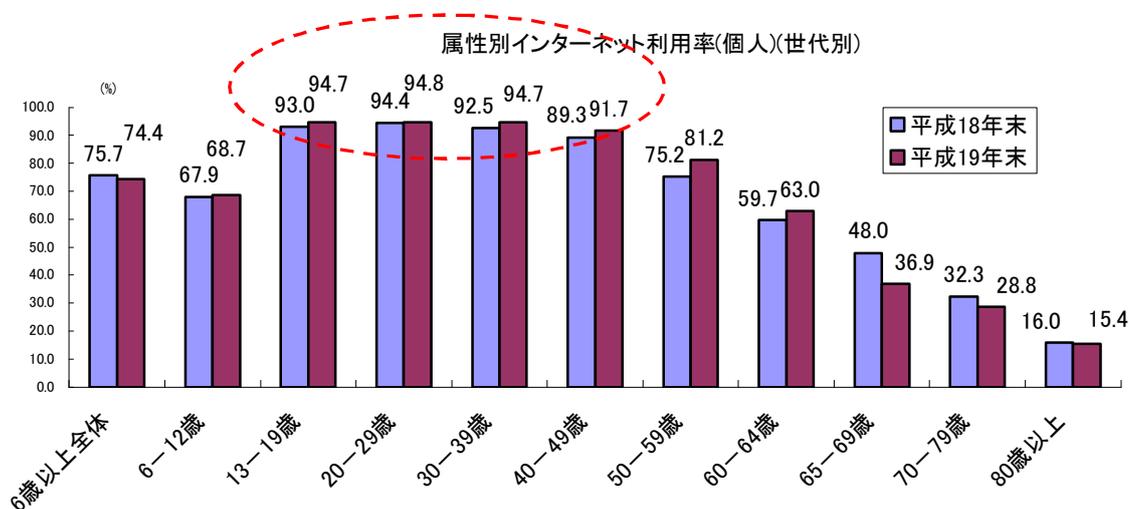
インターネット利用で感じる不安は全体で見ると減少しています。セキュリティ対策が進んだからでしょう。具体的な内容については不安が増加しているのは電子的決済手段の信頼性に不安(40%→44%)、**違法・有害情報が氾濫している(28%→32%)**となっています。最近のインターネットを利用した犯罪の



←本当に悪魔のような事件が続きます(T_T)

多さを反映していると感じます。

一方子供を、有害サイトや出会い系サイトから切り離そうとする**フィルタリングソフトサービス**を見えます。PC利用者は11%→13%と小さい増加にとどまっているのに対して、携帯では7%→22%と急増しています。一連の携帯サイトを利用した残虐な事件から子供を救おうとする動きと見る事ができます。**が、逆に8割近い保護者は子供のケータイにフィルタリングをかけていない**とみることが出来ます。犯罪の温床はなくなったわけではありません。



いずれにしてもこの調査結果については近日、総務省に出かけて今回は徹底的に調べてきます。数字が明らかにおかしい。二年越しになりますが、再び **総務庁 VS アール・リサーチ**

ブログも毎日更新しています！(週休二日で)(笑)。<http://rresearch.blog103.fc2.com/>

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジK・I馬橋3F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail: ryubon@kkd.biglobe.ne.jp